

《平成29年度予算案》

○ **国立大学法人運営費交付金等：10,970億円(対前年度：25億円増)**

【国立大学法人運営費交付金：10,925億円、国立大学法人機能強化促進費：45億円(新規)】

○ **国立大学法人国際競争力強化事業：10億円(新規)**

- ・国立大学法人が我が国の人材養成・学術研究の中核として、継続的・安定的に教育研究活動を実施できるよう、**基盤的経費である国立大学法人運営費交付金等**については、**対前年度25億円の増額**。
- ・そのほか、大学改革を先導する「**指定国立大学法人**」が世界最高水準の教育研究を展開するために必要なスタートアップを支援するため、**新たに10億円を確保**。

平成29年度予算案の主な事項

各大学の強み・特色をいかした機能強化

○ **3つの重点支援の枠組み 110億円(新規分)**

※国立大学法人運営費交付金、国立大学法人機能強化促進費(45億円(新規))

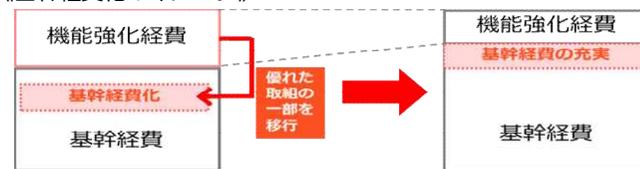
- ・各大学の機能強化構想に対し**評価に基づくメリハリある重点支援**
- ・運営費交付金による支援に加え、意欲的な取組を支援する「**国立大学機能強化促進費**」を創設。
- ・さらに、学部の改組・新設等の**組織整備**に対する**重点支援**を実施。



※「基幹経費化」の仕組みの導入 ※国立大学法人運営費交付金

- ・優れた実績のある機能強化の取組について、評価に基づき、機能強化経費から**基幹経費へ移し替える仕組みを導入**(平成29年度：53億円)し、各大学の**優れた取組を継続的・安定的に推進**するとともに、**大学の運営基盤を強化**。

《基幹経費化のイメージ》



次代の科学技術イノベーションを担う人材育成・知の基盤強化

○ **国立大学の国際競争力の強化 10億円(新規)**

※国立大学法人国際競争力強化事業

- ・大学改革を先導する「**指定国立大学法人**」が、世界最高水準の教育研究を展開するために必要なスタートアップ経費を支援し、**国際競争力を抜本的に強化**。

○ **数理・データサイエンス教育の強化 6億円(新規)**

※国立大学法人運営費交付金

- ・全学的な数理及びデータサイエンス教育を実施するとともに、**全国へ普及・展開する拠点形成を支援**することで、数理やデータサイエンスをツールとして活用し**新産業創出や企業の経営力・競争力強化に貢献する人材を育成**。



意欲と能力ある学生の修学機会の確保

○ **授業料減免等の充実 333億円(+13億円増)**

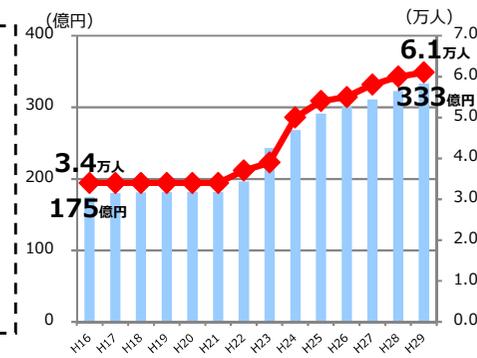
※国立大学法人運営費交付金

- ・意欲と能力ある学生が**経済状況にかかわらず修学の機会が得られるよう、授業料免除枠を拡大**。

【国立大学の授業料減免等の予算額の推移】

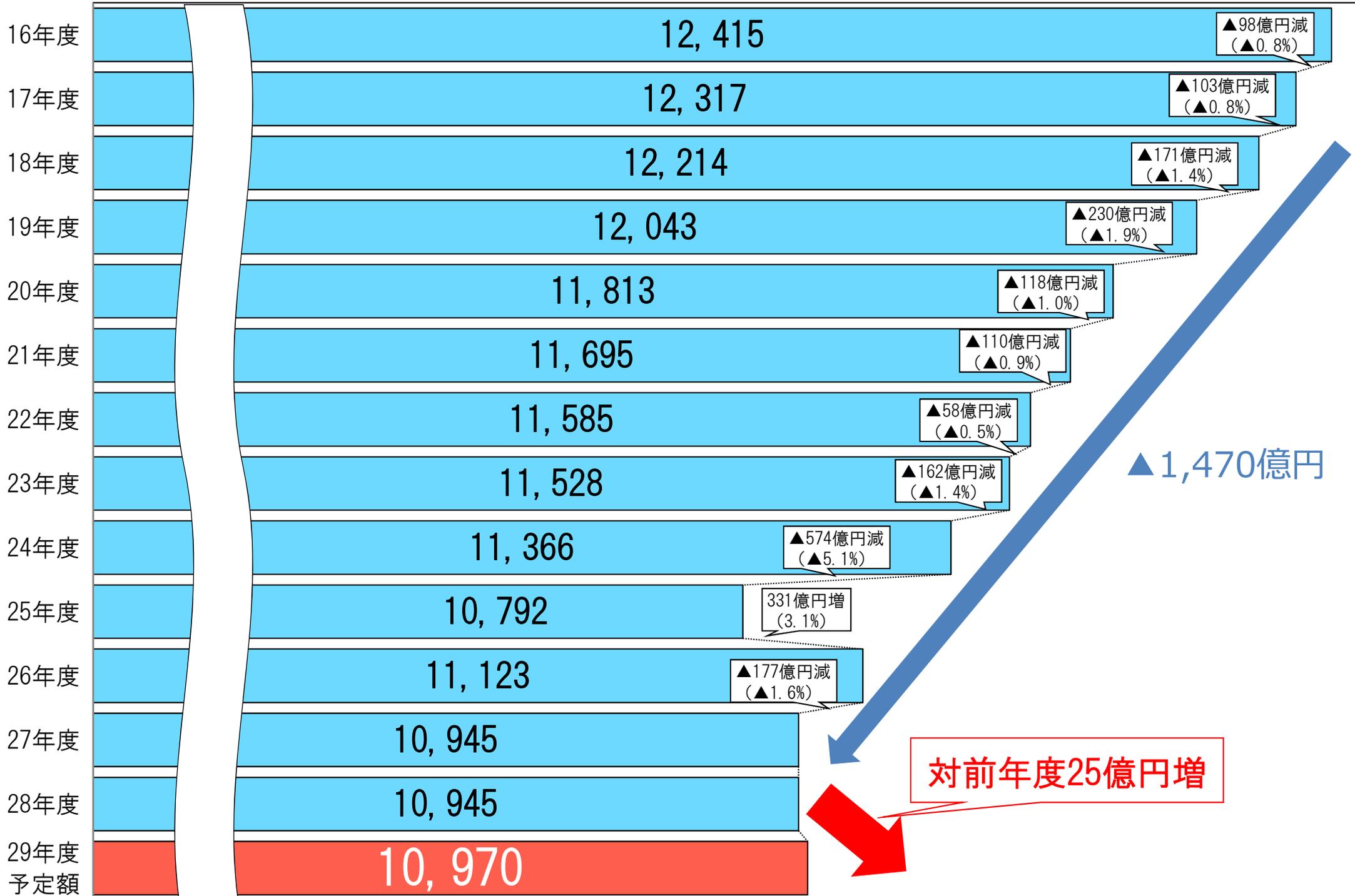
◆免除対象人数：対前年度0.2万人増

平成28年度	平成29年度
約5.9万人(学部・修士)	約6.1万人
約5.4万人(博士)	約5.6万人
約0.6万人	約0.6万人



国立大学法人運営費交付金等予算額の推移

(単位：億円)



※平成29年度予定額には、国立大学法人機能強化促進費（45億円）を含む。